

# 平成24年 業種別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

業種	年	平成 24 年		平成 23 年		増 減 数	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全 産 業		1,701	17	1,686	15	15	2
鉱山保安法適用を除く		1,701	17	1,686	15	15	2
製 造 業		357	3	371	3	-14	
食 料 品		222		228	2	-6	-2
木 材 ・ 木 製 品		25		16		9	
窯 業 ・ 土 石 製 品		24	2	23		1	2
金 属 製 品		15		33		-18	
機 械 器 具		20		28	1	-8	-1
上 記 以 外 の 製 造 業		51	1	43		8	1
鉱 業		4		5		-1	
鉱山保安法適用事業							
土 石 採 取 業		4		5		-1	
建 設 業		267	5	263	4	4	1
土 木 工 事 業		118	3	110	2	8	1
建 築 工 事 業		131	2	122	1	9	1
そ の 他 の 建 設 業		18		31	1	-13	-1
運 輸 交 通 業		188	2	207	3	-19	-1
貨 物 取 扱 業		16	1	23		-7	1
林 業		55	3	65	1	-10	2
上 記 以 外 の 事 業		814	3	752	4	62	-1
商 業		205		205	2		-2
保 健 衛 生 業		199		159		40	
接 客 娯 楽 業		123		100		23	
清 掃 ・ と 畜 業		46	2	49		-3	2
上 記 以 外 の 事 業		241	1	239	2	2	-1

① この統計は、労働者死傷病報告により労働災害の被災者を集計したものです。

② 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。

## 平成24年 死亡災害事例

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	平成24年 1月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	土工	男	54	墜落、転落	その他の仮設物、建築物、構築物等	マンション建築工事現場にて、コンクリート基礎杭の打設作業で使用した機械設備(コンクリート製造用プラント)の後片付けを行っていた被災者が、同機械設備と杭打機との間の地面に倒れていたところを同僚労働者に発見された。
2	平成24年 2月	林業	伐木・造林作業 者	男	65	飛来・落下	立木等	松くい虫により枯損木となった松の木(胸高直径54センチメートル)を同僚が伐木したところ、蔓で上部が絡まっていた別の松の枯損木が、伐木した際の勢いで高さ約5メートルの位置で折れ、退避していた被災者に折れた立木が当たった。
3	平成24年 3月	その他の製造業	作業 者	男	29	転倒	フォークリフト	フォークリフト(最大荷重2.2t)を運転し圧縮した再生固形燃料(縦1.05m横1.05m長さ1.05m重量590kg)を専用のアタッチメントで挟み高さ約3.4mに持ち上げ後進したところ、フォークリフトが転倒し運転席天蓋のフレームで胸部をはさまれ胸部圧迫による心臓死で死亡した。
4	平成24年 3月	その他の土木工事業	管理 者	男	59	激突	整地・運搬・積 込用機械	資材置き場において、被災者が一人で積載型トラッククレーン(つり上げ荷重2.93トン、4トンロング)の荷台後部に架けた登坂用足場板2本を使用し、トラクターショベル(機体重量1975kg)を後進させて同荷台に積み込む作業を行っていたところ、荷台後部にあった同トラッククレーンのジブ先端に激突し、ジブ先端と同ショベルに挟まれた。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
5	平成24年 3月	一般貨物自動車運送業	貨物自動車運転者	男	40	交通事故(道路)	トラック	鹿児島市の本社から九州各県への配送のため、九州自動車道上り車線を4トン冷蔵車で走行中、事故を発生させて路上に停止していた2台の車両のうちの1台に衝突して横転、滑った状態で進み、その前方の路肩に停車していた2台の一般車両に衝突した。
6	平成24年 5月	林業	伐木・造林作業 者	男	77	はさまれ、巻き込ま れ	立木等	被災者及び同僚の2名は杉林において、伐木及び搬出作業に従事していたが、被災者は、同僚が伐採した木(杉)を林内作業車を使用し、林道脇の仮置き場まで運搬する作業を行っていたところ、林内作業車で運搬していた伐木(長さ4メートル、直径0.3~0.4メートル)の下敷きになった。
7	平成24年 5月	窯業・土石製品製造業	作業 者	男	36	飛来、落下	その他の材料	事業場内の製品置き場において、天井クレーン(つり上げ荷重10トン)を用いて3段に積まれたコンクリート杭(長さ5メートル、直径0.8メートル、重さ約3.2トン)を移動させるにあたり、被災者が3段目に2本置いていたコンクリート杭のうち1本に玉掛けをし、クレーンでつり上げたところ、もう1本のコンクリート杭が被災者の方に動き出し、被災者の上にコンクリート杭が落下し被災した。
8	平成24年 5月	農業	作業 者	男	17	交通事故(道路)	整地・運搬・積 込用機械	当日の収穫場所であるキャベツ畑から翌日の収穫予定のキャベツ畑へショベルローダーを運転して公道を移動中、約65センチメートル下の畑へ転落し、ヘッドガードと地面との間に胸を挟まれ被災した。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
9	平成24年 6月	林業	伐木作業者	男	56	飛来・落下	立木等	作業を開始してから4～5本の杉の木を伐倒していたが、そのうちの1本(杉:径約40cm)が、隣に植生している別の杉の木(径約50cm)に「かかり木」の状態となったため、被災者が、チェーンソーを用いて、かかっている杉の木の伐倒作業を始めたところ、かかっている木が落下して被災者を直撃したものの。
10	平成24年 6月	港湾荷役業	貨物取扱作業 者	男	58	はさまれ、巻き込ま れ	フォークリフト	貨物船上での玉外し作業を終了した被災者が、貨物船を降りて、埠頭を歩いて移動している途中、後ろから走行してきた同僚労働者が運転するフォークリフト(最大荷重22.5t)にひかれたもの。
11	平成24年 7月	道路建設工事業	作業者	男	45	墜落、転落	建築物、構造 物	道路建設工事において、盛土擁壁の端部で測量作業をしていた被災者が約13.8m下の地面に墜落したものの。
12	平成24年 8月	道路建設工事業	作業者	男	54	高温・低温の物との 接触(熱中症)	高温・低温環 境	被災者は法面工事に使用したホースの巻き取り作業を行っていた。午後3時頃、同僚労働者が被災者に休憩の合図をしようとしたところ、被災者がふらついていたため、日陰に移動させ座らせた。しかし、意識がもうろうとした状態となったため、病院へ搬送し、熱中症と診断され、加療中であったが、2日後に死亡したものの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
13	平成24年 8月	その他の廃棄物処理業	ゴミ収集員	男	60	墜落、転落	トラック	被災者は契約事業場のごみ回収を終えた後、会社に帰着した。帰着後、被災者は、会社敷地内の資源ごみ置き場に塵芥車を止め、運転席上部のルーフキャリア部に昇り、同所から荷箱(ホッパー)上部のルーフキャリア部に積んである資源ごみを置き場に投下する際、地上に墜落したものの。
14	平成24年 9月	産業廃棄物処理業	ローリー運転者	男	55	激突され	フォークリフト	他社の敷地内において、セメントの原料をプラントに入れる作業をしていた労働者(被災者)が、他社の労働者が運転するフォークリフトに轢かれたもの。フォークリフトは生コンを入れるホッパーを運搬中であったが、その前方を被災者が横切ったもの。
15	平成24年 10月	セメント・同製品製造業	作業員	男	65	はさまれ、巻き込まれ	混合機、粉砕機	コンクリート二次製品製造業の工場建屋内に設置してあるコンクリート攪拌機の上部の枠(ヘリ部分)に立ち、高圧洗浄機を用いて、攪拌機内部のスクリー部分(枠から1.3メートル下部分)を洗浄していた作業員が、右足をスクリーに巻き込まれたもの。
16	平成24年 10月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	作業員	男	65	墜落、転落	屋根	牛舎のスレート屋根の補修工事を行うため、被災者と他の労働者がスレート屋根上に乗り、補修方法を話し合っていたところ、被災者がスレート屋根を踏み抜き、約5.6メートル下のコンクリート床に墜落したものの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
17	平成24年 12 月	一般貨物自動車運送業	貨物自動車運転者	男	51	交通事故(道路)	トラック	積載荷重14トンのトラックで宮崎市から長崎県諫早市に足場資材を運搬中、片側一車線の緩やかな下り坂で対向車線にはみ出し、直進してきた積載荷重2トンのトラックに正面衝突したものの。

平成24年 重大災害事例(交通事故を含む)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)	死亡	負傷
1	平成24年11月	その他の 建築工事業	運転手	男	20	交通事故	乗物	労働者5人が社有車である普通乗用車に 乗り合わせ、工事現場に向かう途中、交差 点に進入したところ、左方向から右折してき た軽自動車と衝突し、全員被災したもの。 なお、自車側の信号は黄色点滅、相手車 側の信号は赤色点滅であった。	0	5
			作業員	男	16					
				男	17					
				男	17					
				男	16					

※ 重大災害とは、一時に3人以上の死傷者を伴う災害である。